

# 会 議 録

会 議 名	第 7 回青梅市市民ホールに関する懇談会		
開 催 日	令和 4 年 10 月 5 日(水)	場 所	市役所本庁舎2階 204・205 会議室
時 間	午後 2 時～午後 4 時まで		
出席委員	委員:伊藤裕夫委員、松井憲太郎委員、米田正彦委員、橋本研委員、森本真也子委員、小澤順一郎委員、久我匠委員、根岸英美委員、岩永英文委員、森田美子委員		
傍 聴 人	6 名		
報 道 等	0 名		
配付資料	○会議次第 ○青梅市市民ホールに関する懇談会報告書(案) ○別紙「懇談会意見一覧」		

## 会議概要

発言者	会議のてん末・概要
(事務局)	<p>(1 開会)</p> <p>本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。 本懇談会も令和3年の4月を皮切りに、今回を含め7回にわたりご議論をいただきました。本日が予定されている最後の回となりますが、引き続き忌憚のないご意見を頂戴したいと存じます。</p> <p>なお、本日、「山本委員」「島崎委員」「須田委員」については欠席の御連絡をいただいております。また、「米田委員」におかれましては10分程度の遅れての参加とのご連絡をいただいております。</p> <p>本日、会議の傍聴を希望される方がおりますので、「青梅市市民ホールに関する懇談会傍聴規程」に則り、傍聴人が入室しております。</p> <p>それではただいまより、第7回青梅市市民ホールに関する懇談会を開催いたします。</p> <p>会議に先立ちまして、資料を事前に送付させていただいておりますので、ご確認をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【次第】</li> <li>・【資料】 青梅市市民ホールに関する懇談会 報告書 (案) また、この報告書の別紙として報告書とクリップ止めしております、</li> </ul>

(会長)	<p style="text-align: center;">別紙「懇談会意見一覧」以上となります。</p> <p>また、本日追加で米田委員から皆様の机上にイメージ図と森本委員から「青梅の文化ミーティング」の結果がお配りしております。過不足等ございませんでしょうか。</p> <p>それではお手元の懇談会次第に沿って伊藤会長からご挨拶をいただき、以降の進行をお願い致します。</p> <p style="text-align: center;">(2 会長挨拶)</p> <p>こんにちは。早いものでこの懇談会が始まって、コロナもはさみ、足掛け2年になりました。予定よりも2回ほど回数も増えて、いよいよ最後になりました。かなり報告書らしいものにまとまりましたが、今日、皆様のご意見を聞いてより良いものにしていきたいと思います。</p> <p>報告書の内容について、細かい点も含めてご意見をいただき、修正すべき点は修正する形で進めたいと思います。</p> <p>まず報告書について、事前に送られているので、おおよそ知っていただいているとは思いますが、前回、お配りした骨子案から一部変わっています。付帯提案をはじめに入れました。前回の意見で付帯提案は非常に重要なので、冒頭に持つべきとの意見から「はじめに」のところに付帯提案を持ってきました。構成としては前回と同様に、コンセプトを3本設けて、そのあと、機能・形態として、どのような形で使うのかということに基づいたハード面、それを受けて運営としてまとめております。私も事前に見て、運営がまだ弱いかと感じました。そういった点も含めて、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。</p> <p>米田委員と森本委員からいただいている資料については内容の中で関わることが出ると思いますので、その時にご説明いただきたいと思います。</p> <p>まずは、全般的に見ていただいた印象をいただければと思います。</p> <p>はじめのところで設置目的や市の総合長期計画との関連性などやや詳しく書いているところがありますが、市に納めるものとして、この報告書の位置づけが市の規程に基づいていることを主張したいとして書いております。しかし、それだけでは終わらないということで、ハードを超えて、運営の仕方や付帯提案を前段として書いております。付帯提案については後程、青梅の文化に関するミーティングの話で出ると思えます。まずは全体の構成についてご意見いただければと思います。</p> <p style="text-align: center;">私も最後のまとめるプロセスで、会長、事務局と作業させていただき</p>
(委員)	

	<p>ましたが、まずは事務局にて、これをまとめていただいたことに感謝いたします。また、まとめていただいただけでなく、これまでの懇談会で出た重要な点が過不足なく盛り込まれていて、それを単に盛っただけでなく、構造として市長に報告するための要点が伝わる形で構成してくれました。もちろん、会長がおっしゃったようにまだまだ取りこぼされている点があるとは思いますが、最終の打合せで本日の案の前のバージョンに基づいて、打合せをしましたが、会長からも私からも事務局からもいろいろ出ましたが、細かい部分ではないのですが、まだまだ委員さんの意見も盛り込まれるであろう言うことで、運営の部分など少しブランクとして残している部分がありますので、会長の考えとしては今日の回で皆さんから活発なご意見をいただけたらとのことです。ですが、事務局がかなり作っていただいたので、骨格としては大きく直すことはないのかなと個人的には思っています。</p>
(委員)	<p>骨格や内容とは少し違うのですが、表現上の問題で、アンダーラインやボルドーで強調されてますが、強調するとそこしか読まれないので、強調はなくしたほうがいいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
(会長)	<p>アンダーラインについては本日の議論のために入れてます。最終的な報告書にアンダーラインを入れるかは皆さんの意見を聞いて決めたいと思います。</p>
(事務局)	<p>報告書をいただきましたら、全体をきちんと受け止めさせていただき、どこを強調して見るなどはございません。今、委員さんの意見のように一般論的に懸念があるのであれば、会長、副会長と相談させていただきますして、アンダーライン等をなくした形で対応いたします。</p>
(委員)	<p>私も、全般を読んで、沢山の人があれだけ言ったことを丁寧にまとめていただいたと思いました。そして今の強調の話ですが、私は強調と言うよりも、この懇談会としてここだけは言いたいと、報告の時だけはあってもいいかと思います。皆さんに公開されるときは、意見の強要するようになるので、その時はわかりませんが、でも、ここに私たちが考えたことが書かれていると思います。一点だけ、2, 3箇所出てますが、「興行ではなく」という言葉がでますが、この言葉が何を意味するのか理解するのが難しいとおもいますが、若い人はどうかなの思います。興行というと、私たちがイベントをやるとか、誰かを呼んでくるとかも興行になると思います。ここで言う興行は何を指すのか明解にしたほうが良いかと思います。</p>

<p>(会長)</p>	<p>興行という言葉については、狭く言うと商売でやっているとなりますが、一般的に言うと市民から有料で催しを行うものも入ります。市民が行うものを否定するものではないので、注を入れてもいいかもしれません。委員は興行という言葉でどのように捉えられますか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>あまり使いませんが、個人的な認識としては完全に外部からお客さんと呼んで、商業的に収入を得るものと理解しておりました。人によって解釈が異なることは避けたいと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>文章の中で興行という言葉をやや否定的に使いすぎているところもあると思いますので、ここは注意して点検したいと思います。  それでは中身に入りたいと思います。コンセプトについて、前回もありましたが、旧市民会館の意義をもう少し丁寧に書いてほしいとか、広場やあそびといった言葉も拾ってほしいとの意見があって、そういったものを盛り込んだつもりですが、何か違和感等ありましたら、ご意見ください。</p>
<p>(委員)</p>	<p>前提のところ少し。懇談会の課題のところ、ここまで書ききれないか分からないとは思ってお聞きしますが、この諸事業用地の計画全体としての「新たな文化施設」の役割や機能を前提としてといったようなものを入れていただけないかと思います。一番初めの懇談会で確認しましたが、この会が文化施設だけを話し合う懇談会なのか、周りの計画も含めて、その中でどのような機能を果たすのかを確認したと思いますので、その部分の認識を入れていただければと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>その部分で言うと運営と運用が混在してるのが気になりました。ここはタイトル自体が運営なので、運営に訂正します。</p>
<p>(委員)</p>	<p>あと意味合いで質問があるのですが、次頁の付帯提案で、2番目の市組織における文化振興を担当する部署の設立の2段落目が結構シビアなことを言ってますが、懇談会からの意見ででたのでしょうか。</p>
<p>(会長)</p>	<p>空洞化までは言ってないかもしれませんが、懇談会から指摘が前回にもでていました。空洞化という言い方は書きすぎかとも思いますが。いずれにしても、複数の部署に分かれると、それぞれが勝手な行動をしてしまうので、このへんについて、仮に運営が指定管理者になったとしても、全体をしっかりと見る部署が必要との意味になります。この付帯提</p>

	<p>案はコストのことにもなりますので、最後に議論したほうが良いかと思 います。</p>
(委員)	<p>付帯提案で1つ、3つ目に市民参画が出てますが、今回の会でキーワ ードとして出ているのが市民参画だと思います。この付帯提案の中では 基本計画に参加となっておりますが、前回は提案した可能であれば、プ ロジェクトが終わるまで、市民参画ができないか提案します。</p>
(会長)	<p>それについては第3章の運営で議論していただきたい部分ではありま す。この付帯提案については今後進めるにあたっての市民参画をお願い するものであります。この懇談会は市民参画として進めてきて、この後 を行政と業者だけで話を進めるのはまずいと思いますので、そこに市民 参画を担保する意味で入れています。</p>
(委員)	<p>もう少し先まで、プロジェクト全体にという形でできなかの提案で す。実際作る時も参加させてもらいたい意味です。</p>
(委員)	<p>私もそれを言いたいのですが、新しい文化施設の施設形態の使われ方 とありますが、この懇談会が終わって、この使われ方となると建物が建 ってどう使われるかとなるとと思いますが、その間に具体的にどういつた ものを建てて、どのような部屋になるかとそのような部分に市民参画が 必要かと思ひます。そのようなことを盛り込まれると良いかと思ひま す。</p>
(会長)	<p>このへんは少し検討が必要かと思ひますが、専門委員からも意見を聞 きたいのですが、従来、文化施設を作る時に、まずは基本構想、これは この懇談会が基本構想に近いと思ひます。そのあと、基本計画、この段 階もなるべく専門家と市民を入れて、特に地域で活動する団体などの 意見を入れて基本計画を作ります。そのあとの実施計画はどちらかとい うと建設会社、あるいは設計関係の方が中心となります。おっしゃると おり実施計画が結果的に市民の声が結果的に反映されないということも 他の事例を見ますとないわけではありません。そういった意味でも基本 計画に携わったものが実施計画についても点検していくというか、実施 計画に市民が入ると、業者に市民関係の業者が入ったりもしますから、 実施計画づくりにおいて監視ができる体制は必要だと思ひます。この 辺を含めた書き方ができるか工夫します。</p>
(委員)	<p>前回提案した、市民コンサルタントみたいな立場が作れる面白いと思</p>

<p>(会長)</p>	<p>います。</p> <p>他市で進めている話で、実施計画は市民ではなく、施設の建築関係が入って、応募してきた設計案に基づいて、実施計画が進めていますが、基本計画に携わった委員からはなんとなく離れていく気持ちを持たれる方もいます。工数の問題だとか、時間の問題などの様々な問題に話がとられて、基本計画を作るときの議論がどこまで活かされているかに対して気になるなどの意見はあります。そういった点は反省したいと思っておりますので、そういった点は歯止めをかける仕組みが必要かと思えます。文章化するのはどれだけできるかわかりませんが、そういったことをなんとか入れ込めれば入れたいと思えます。</p>
<p>(委員)</p>	<p>いま、会長がおっしゃった流れの全般にわたって、市民の参画協働を大事にしながらやっていくというような文言でまとめることはできないでしょうか。やはり、参画と協働という言葉が入っている方がいいと思います。計画を建てる段階で、建物を専門的に考える場合はそれはその専門家で考えてもらい、市民がわかる形にしてもらいたい。</p>
<p>(会長)</p>	<p>基本計画策定の段階から実際の建設まで、市民の声を聞くだけでなく、参加、協働を図るようにもう少し強い形での市民参加の要素を出せるようにしていきたいと思えます。現場の設計の立場で委員いかがでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>設計に入る前に、その前に出された基本の仕様は遵守することになります。基礎資料はとても重要で、市民の方からこういった意見があったというのは次につなげて行きます。書かれたものはとても大きいので、どうしても根底に残ると思えます。その中で、ホールの建築に当たっては、この懇談会でホールを音楽系にするのか、劇場系にするのか、色々とホールのあり方が使用団体によって変わると思えます。この前のワークショップは非常に有意義でしたが、まだまだ、意見を言う方が少ないので、使用を想定される団体から意見の母数を増やして意見を絞っていくことがこの懇談会の後の基本計画の中なのかその間なのかかわかりませんが、そういったことはやった方がいいと思えます。それに繋げるための文章は必要だと思えます。</p>
<p>(委員)</p>	<p>まとまった意見はまだ言えないかもしれませんが、基本構想に当たるものが、この懇談会が作っているものだとして、今日の段階で包括的な意見がまとまったものが出ましたが、これがどのように基本計画につな</p>

	<p>がっていくのか第一の関門であると思います。その後、皆さんが言うようにいい形の実施計画につながっていくと、その全ての過程において市民の参画があったほうが良いというのはベーシックには私もあったほうが良いと思います。ただ、ある種の行政と、実施計画まで作り上げていく専門家と市民との信頼関係をどのように作っていくことが前提としてないと、土壌がしっかりとつくる必要があると思います。</p> <p>あとは、舞台芸術をやっていると一本の作品を作る時に、舞台芸術家がいって、その人が周りが考えもしないようなプランを提出してくるときがあります。最初は違和感しかないのですが、作業を進めていくと作品がもっている可能性を最大限広げるような、美術のプランを提出することがあります。なので、これから関わってくる、専門家の知見やノウハウについても最大限尊重した方がいいと思います。なので、丁寧に書いてもらいたいのですが、ここでの意見もなにも、市民のチェック機能を入れろといったことではないと思います。市民と専門家と行政、三者のチカラが有機的につながって上手く機能するための必要事項だと思いますので、書き方を考えてもらいたいです。</p> <p>(委員) 私は録音スタジオの設計を生業としていました。録音スタジオの設計は最初から最後までユーザと細かいところまで打合せしながら設計していきます。しかし、ホールになると、発注者がいて、設計会社がいって、そこでユーザーとは縁がきれてしまいます。私もお手伝いすると、市民とも市の方とも話さず、設計会社とメーカーが話して仕事が進んでいます。そこに何故入れないのか言うのが頭にありましたので、話させていただきました。</p> <p>(委員) 設計者とか建築家でもない舞台芸術家も同じようなことを感じたりしますので、今回は多様な人が主体となってやっていけたらと思います。</p> <p>(会長) この件に関しては、次の基本計画作りが重要となり、とおりの一辺倒となれば実施計画の段階において、今みたいな議論がどんどん消えてしまいますので、基本計画づくりに、市民と専門家が参加して、特に運営について具体的に基本計画に書き込んでいくことが重要だと思います。</p> <p>私もこの懇談会に参加する上で、基本計画なのか、構想なのか最初に確認させていただきましたが、この次に基本計画が作られていくので、そこで、行政と関係者だけでなく、市民やソフト部門の専門家、文化団体などの意見が反映される体制が必要だと思います。その後の仕様に関わる部分が書き込めるようにしていきたいと思います。</p>
--	--

(委員)	<p>協働という言葉は是非入れてもらいたい。市民にまだ協働という言葉が落ちていないですが、やはり一緒に作っていくものがなくて、文化ミーティングをやった際も互いに作ろうというものが、文化施設であるからこそできるものだと思います。</p>
(会長)	<p>付帯提案については後でもう一度振り返りますが、2章については、席数についても書いております。やや書き込みすぎかとも思いますが、一方で前回議論になった、ひな壇にするか可動式にするかははっきりとした結論は書いておりません。もっとはっきりと書き込みたかったのですが、前回の議論でどちらにも長所がありましたので、基本計画レベルで煮詰めてもらう形にはなりますが、基本的な部分として「安心して良い環境」での作りがポイントとしております。この2章について、まとめてご意見があれば頂戴したいと思います。</p> <p>ホールが中心となりますが、交流の部分についてもご意見あればお願いいたします。</p>
(委員)	<p>ホールではありませんが、第1章の3において「美しい山と溪谷に抱かれ東京に暮らす青梅」を体現とあり、その一番最後に、架線がひかれている部分で屋上等に展望スペース等を設けることが挙げられますとありますが、急に具体的だと思いますので、これが一例であればいいと思います。例えば、建物全体が自然に溶け込み、そのいくつかのスペースが自然の眺望を活かして機能するとか、具体的だと狭まる気がします。</p>
(会長)	<p>この辺について、委員より図面をいただいておりますので、お願いいたします。</p>
(委員)	<p>私は第1章に関してはこの内容で異論はありません。</p> <p>絵を書かせてもらったのは私が敷地を誤認していた部分がありまして、この1番の絵でホールの予定地に敷地に余裕がないかと思いましたが、問題はないとわかりました。ホールの大きさとしては800人程度の演劇ホールが実例としてありましたので、イメージとして入れました。側道や楽屋などは含んでおりません。なお、ホールを作るにはフライタワーも押さえた形で入れています。建物デザインは置いておいて、このくらいのボリュームの2倍くらいが付帯施設として出てくると思います。駅からの関係や市役所の関係を入れております。3つ目は平面図で800人規模のホールの絵で、演劇専用に近いひな壇式になります。袖舞台は切っております。専門的になればなるほど大きくなります。積層すればなんでもできますが、機能性は落ちると思います。平面的まとめた</p>



<p>(委員)</p>	<p>方がいいと思います。</p> <p>第2章の1でこれまで議論したものが盛り込まれていますが、3つ目の段落でアンダーラインが引いてある部分の席数のところで、500～600が生々しいと思ひまして、今までの議論で、例えば2階席、3階席は固定で、1階席部分を可動式にするとか、両方の形態が考えられるので、どのようなメリットがあるかという、1階席が仮に500席でも2階、3階で100席、100席で700席にするとか、1階席だけなら500席だけの劇場になりますとの意見が合った思ひます。なので、ここは細かなことを数として規程せずに中規模ホールの規模感を表すために500～800程度として、これから市民が協働で、基本計画を作っていくのなら、今まで考えた形と大幅に変わることはないと思ひますので、ここで大事にすべきことなのは、中規模としても規模感なのか、数字なのか聞きたいと思ひます。</p>
<p>(委員)</p>	<p>以前、市からの計画では1500くらいでしたが、それでは使いきれないだろうと、青梅市で使うに具体的な規模では以前の市民会館をベースに500～600程度がいいところとして数値が出ています。</p> <p>ただ、中規模は今の世間ではかなり広い規模まで中規模になりますので、1000規模でも中規模になってしまうので、数百であることは押さえたいと思ひます。</p>
<p>(委員)</p>	<p>世田谷パブリックシアターは最初キャパが600だったのですが、600に限界があつて、後から定員を100増やしました。あそこも、2階席、3階席があつての700です。</p>
<p>(会長)</p>	<p>2階席、3階席についてはコストの問題もありますので、基本計画での段階だと思ひます。どのような形態にするにしろ席数は議論があるとは思ひますが、少なくともどんなに大きくても800を超えない、600程度で、それが決定ではなく、基本計画の中で最終的には音楽、演劇についても、あるいは多目的に使うにしても決めるとして、ここでは数字をきちっと上げる方がいいかどうかご意見あればお願いします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>上の方に、市内の小中学生の音楽鑑賞教室のことがありますが、これは今は福生でしょうか。これから、建物が建つ数年後を見て、今は1学年1,000人程度ぐらいなんですか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>昨年の出生数は585人でした。生まれた人数ですので、6年後小学生</p>

	<p>になるようなイメージです。今後、少子化がV字回復するのは難しいと思いますので、近い数字で推移するものと考えます。</p>
(委員)	<p>500 前後でしょうか、そうしますと引率の先生等を含めると 600 では少し小さいかと思います。こどもだけではないので。やはりゆとろぎのように 1 階は 600 で 2 階に 200 くらいあって、普段は 2 階席は閉めていて、何かあれば 2 階席をあけるような感じで 500~800 ぐらいの数字を出してもらおうとありがたいです。</p>
(委員)	<p>イメージとして青梅市民会館程度だとイメージすると思いますが、最初は 730 程度で、椅子を大きくしたので 580 くらいになりました。イメージとしたら青梅市民会館程度として数を書かなくてもいいかとも思いました。同じように、多目的ホールも 200 人程度としてますが、福祉センターの一番大きい部屋は 300 人近く入りましたよね。もう少し大きてもいいかと思いました。</p>
(会長)	<p>数を入れるかどうかについては、入れるとしても中規模程度として括弧付けで旧市民会館をベースに 500 席程度みたいなかたちでいいのかと思います。</p>
(委員)	<p>だいぶイメージがわいてきました。数字的なことが言われていますが、数字的なものを書かないとイメージが沸かないこともあります。数字はデジタルですので、それが決定事項のように印象付けられてしまうのを避けたいという皆さんの意見もよくわかりました。全体を通して感じたのは、かなり利用価値の高い施設になるのかと、我々はそのために集まっているのだと改めてこれと呼んで感じました。</p>
(会長)	<p>ありがとうございます。このあたりの書き方については計画ではありませんので、入れるとしてもイメージを知らせる程度としたいと思えます。席についても近年大きくなっておりますので、席数も変わってくると思います。特に小規模になるといわゆるスクール形式でやるのかなど席の配置によって変わってくると思いますので、あくまで使い方の目安として書かせてもらいます。</p>
(委員)	<p>言葉のことなのですが、客席に対してひな壇という言葉が使われいますが、客席にひな壇という言葉は使わないと思います。通常ひな壇はステージ上に組み上げるものですので、客席には使わないと思いますので、一般的には何ていうのでしょうか。</p>

<p>(会長)</p>	<p>何かいい言葉があれば、変えさせていただきます。青梅市で、理解できるものを上手く使います。</p> <p>あと、副会場のイメージスペースも前回でしたので、付け加えています。これも余裕があればとの形で絶対とはしておりません。</p>
<p>(委員)</p>	<p>少し戻りますが、先ほどの多目的スペースの人数はどのように表記しますか。</p> <p>例えば青梅市で文化祭をやると色々な団体が参加します。それぞれの部屋で着替えなどもします。なので、いくつか分割できるような形であると助かります。楽屋だけではとても足りないと思います。秩父の市民会館で木が沢山使われているとのことで、見てきました。そこにも多目的があって、そこは4分割できる部屋があって、ここも（市役所の会議室）も分割できますよね。そのような形になっていると助かると思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>たしかに分割できるような形はあったほうがいいと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>多目的の箱型の小ホールの意見が出てきたもともとの意味合いは固定席課は別として、中規模ホールで引き受けられない、バンケット形式でのイベントを引き受けられるホールで、そのホールは単にバンケット型だけでなく、市民の小規模な文化的な催しに耐えきれるとの意見だったと思います。それに関してのキャパシティが200なのか300なのかの話だったと思います。少し、200って数字が独り歩きしないようにしてほしいのが委員の意見ですよね。</p>
<p>(会長)</p>	<p>それに関しては少し思ひまして、交流施設は多目的ホールしかないのかとなります。会議室等でも今の福祉センターでも大きなバンケットスペースのほかに会議室もあると思います。こういった多目的のホールと合わせて、会議室等の付帯設備も必要である旨加えた方がいいと思います。多目的ホールを2つ作るのは無理な話だと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>会議室という言葉がいいのかという問題もあります。文化交流センターは色々な部屋を文化活動室、ミーティング室、会議室とありますが、全部同じような感じで、色々なことができる形になっています。なので、会議室よりも大小の多目的室のような感じでいかがでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>いまおっしゃっているようなことは、1番の多様なの部分に入ってい</p>

	<p>ると思いますが、ちょっと曖昧な部分で、いわゆる市民交流ロビーみたいに狭く捉えられがちな書き方になっていることも事実で、もう少し具体的に、ホール以外の利用で市民が多様に交流できるスペースを設けるようなかたちで、書き方は別として1番に入っていると思います。</p>
(委員)	<p>いずれにしても、たまぐーで予約がとれない日がありますので、新しい施設についてはたまぐーで足りない部分を保管するイメージを持っていたので、青梅まではいけないけど、ここまでならといった使い方もできると思います。</p>
(会長)	<p>実際に運営の問題ですが、ホール関係と交流関係と別々の管理者を設けて運営するわけではありませんから、名称は色々ありますが、使い方については様々な使い方ができるようにするのは当たり前だと思います。そう考えますと、中規模のホールと小規模の多目的ホール、リハーサル室も含めて多目的ルーム等になると思います。数については予算規模にもよるものだと思います。そういったものが必要だという書き方だと思います。</p>
(委員)	<p>そこで2番のタイトルが中規模ホールと多目的ホールの併設となりますが、両方とも同規模のホールができるのかと思いました。中規模ホールと多目的小ホールとしないと怖いと思いました。明確に書いていいと思いました。</p>
(会長)	<p>誤解ないように改めたいと思います。</p>
(委員)	<p>前に戻るのですが、これは市民の委員の方に聞いてみたいと思うのですが、ホールの利用のされ方からのホールの規模についてですが、架線部分の下の専門的な文化団体の利用にも耐えられるよう、音響や舞台等の機能とありますが、そのあとも音響が強調されている感じがして、すごく具体的に言えば、音響以外の照明や舞台機構等についてもとして、全体的な方がいいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>今までの議論でも確かにでましたが、ちょっと唐突すぎる気がします。今はデジタル化が進んでいるので、専門家だけでなく、照明も誰でも使えるものが増えていきますので、順番からすると舞台、照明、音響の順番になると思うのですが、これは加えた方がいいと思いました。</p>
(会長)	<p>これももう少し、簡略化したいと思います。</p> <p>もう少し議論を進めるため、第3章に入ります。ここは運営に関して</p>

<p>(委員)</p>	<p>ですので、1章、2章と比べて、まだ内容が薄いと思っています。ここに      関して使い勝手がいいとか今まで出てますが、より具体的なもので盛り      込めないかと思っています。</p> <p>2項で運営組織と人材で市民組織と専門人材を合わせた運営組織が必      要となっていますが、それを担当するような専門的な人材がないのが      話の発端だったと思います。それを考えると序章の付帯提案の2番目で、      急に文化を振興する上での…は建ててからの運営だと思いましたが、建て      てからの運営だと思うので、その運営も含めて文化の対応をどうする      のか市民も含めたものなのか、担当部署を市で作って終わりなのか、序      章と3章で書き方が違うと思いました。どうなっているのでしょうか。</p>
<p>(会長)</p>	<p>序章は、実際に運営するのは行政が直営でやるのは難しいので、多く      の形は指定管理者等などで委託したりしますが、その時に任せっきりにな      ってはいけないとの意味で、序章ではできた後も含めてチェックでき      るような専門部署が必要と書いてあります。3章では行政と市民のチェ      ックのもと専門家や市民の中でも専門的な知識や想いを持っている人た      ちが共にいっしょになって運営していく。市民活力といった言葉がわか      りづらい感じもしますが、このへんの事を述べたいと思います。この3      章の書き方については煮詰まっていますので、是非ここでご意見を頂      戴したいと思います。先ほど委員が言いましたが、運営に関してのイメ      ージも行政での専門部署がやるのではなくて、実際に現場で運営する組      織のイメージはどうなのか、あるいはその前に書いてある文化的な事業      を実施するだけでなく、広報とか、貸館業務について、利用者にアドバ      イスしながら運営していくようなことを書き込んだ方がいいと思いま      す。その辺についてご意見を頂戴したいです。</p> <p>駐車場やトイレ等も書いてありますが、最近多いのは、ネットを使っ      た情報発信なども入るかと思っています。運営組織については現実的には難      しいとは思いますが、昔からの行政には文化振興財団などがあって、行      政とは別に公財として専門的な人材を雇ってやる場合もあります。</p>
<p>(委員)</p>	<p>運用・運営とは少しずれるかもしれませんが、青梅市が提携している      文化団体で一番大きいのは国立音楽大学だと思っています。ここにリハーサ      ルや発表に使ってもらう。その際は市民が見れるようにすると、自然と      文化に入り込んでこれるのではと思います。</p> <p>運用という意味で、専門知識を持った市民、高齢者に入ってもらい、      協力してもらうと面白いと思います。現在のシルバーでも専門知識を持      っている人も沢山いると思いますので、集めてきて強力なヘルパー部隊</p>

	<p>が作れると面白いと思います。</p>
(委員)	<p>このホールは、下の方に文化交流センターとありますが、それに対して、市民への文化振興の拠点として行きたいとの思いがあると思います。ここでは市民に対して文化的なプログラムを企画していくことが運営組織でやっていくのでしょうか。</p>
(会長)	<p>重要な点だと思います。ホールに絞った場合に文化施設を運営する組織がホールを市民の発表の場だけでなく、自主企画や主催企画でいいものを提供していく。また、市民の文化活動を推進していくワークショップやアウトリーチなどを実施していく機関として期待するのか、あるいは市民の発表の場としてそれを側面から支えていくことに徹するのか、これから地方都市の文化施設としては議論が分かれるところではあります。この辺も委員の間で意見を出してもらいたいと思います。</p>
(委員)	<p>やはり発表の場だけではもったいない。ここで最初から話の出ている、青梅の文化を発信していく場でありたいと思います。やはり企画の問題だともいます。今までの市民会館は誰もやる人がいなかった。事務所の人も青梅市民センターと兼ねていたりしてそれに専念できませんでした。今回は先ほど出たように、主としては文化を司る部署があって、その中に文化ホールに関わる人がいて、後、有識者や専門家が出てきて色々を企画してそのようなことで活性化していく。市民が発表の場として使うだけでは閑古鳥が鳴いている状態になると思います。色々な新しいものに触れられる場にして、それをコーディネートできる組織が必要だと思います。</p>
(委員)	<p>第3章の事業の展開利用のしやすさの2番目ですね、本物の芸術に触れる機会の創出でおそらく入っているともいますが、書き方が割とソフトな書き方をしていますが、今までも私は先導してこの議論が必要だと言ってきましたが、まず、事業展開としてやっていくことを2番としてもう少し明確に言ってもいいのではと思います。明確にうたった上で、運営面で担う専門的な人材が必要となると思います。事業展開として2番を明確にする方向で検討すればいいと思います。</p>
(会長)	<p>前回にも少し出ましたが、アウトリーチなど様々なもののなかで、自主企画の活動に関して、公演事業などいいコンサート、いい演劇、いいダンスそういったものを企画して実施するだけでなく、こども達と一緒に歩いていくとか、市内の様々な場所と提携する。市民センターな</p>

	<p>どに派遣するなど、ホールに来ることができない人たちにも提供できるような事業のイメージが沢山あると思います。今回は事業計画をつくる訳ではありませんので、細かいところまでは決める必要はありませんが、方向性については強化して書かないと運営組織にもどのような人材が必要なかわからないと思います。余談になりますが、10年以上前に公文協で「つくる劇場」、「提供する劇場」「集会施設」「コミュニティー活動の中心」として全国の施設を4つに分類してどこを目指すかを定めるようなことを述べました。この「つくる劇場」は青梅市の規模では難しいともいます。でもいいものを提供する意味で「提供する劇場」か市民が主体となる4つ目の「コミュニティー活動の中心」として2か4かは今決めないと次に作る計画に影響がでると思います。皆さんがたのイメージはいかがでしょうか。</p>
(委員)	<p>今までの話し合いのイメージでは中規模ホールが2で多目的小ホールが4になると思います。その中で、2の4も目指すことになると思いますが、3章の2で環境が必要になるは文化ホールを作る理由にしかないので、環境が必要だから、本物の芸術文化に触れるような企画の立案・協賛・援助が必要だまで書いて、具体的にその組織がどのようなことをやるかはこの後の基本計画等で書けばいいと思います。組織が必要とまでここで書けばいいと思います。</p>
(委員)	<p>市としてこの運用を含めてどのくらいのお金を投入する気持ちがあるかにすごく関わると思います。今は2と4の両方の機能を持つべきだと議論は来ていると思います。市民に本物の芸術文化を提供することも市民の活動の場とすると、やりたい市民が来る場所となりますが、本当は市民がもっとやりたことを掘り起こすのも文化振興だと思うし、そのような専門家が重要だと思います。そして芸術文化に触れることもあらゆる角度でできる専門性も必要だと思います。結果的には行政直営でやるのか指定管理なのか、どのような形態でどの程度予算を投入するのか、でもそれはさせるかといった考えもできるので、文化を大事にする条例ができるかとも絡んでくると思います。</p>
(会長)	<p>この懇談会で積極的に文化施設を活用してやる、本物芸術を提供できる企画力が必要だとか、ワークショップなどで市民を巻き込んで掘り起こすことも重要だと、最近ではアーツ監修的なものが必要であるとか、色々な話があると思います。そうすると市の方でも財政的に確保する動きになると思います。財政的な部分から入ってしまうとやはり厳しい現実があると思いますので、ここではさせる方向で議論をしたほうがいい</p>

<p>(委員)</p>	<p>と思います。結果的にはできなかったってこともあるとは思いますが、懇談会としては最大限必要なものは述べた方がいいと思います。</p> <p>どれだけお金を出す気があるかと市民の必要性について上手く噛み合うかですが、この懇談会では必要性を明確化して打ち出す必要があると思います。3ページの総合長期計画の基本構想との合致とありますが、この基本構想は青梅市がやるべき一番中核的な事だと思っています。これには当然、予算的な配慮としてプライオリティが1番に来るともいます。しかしこれは抽象的なことなので、具体的になにをするかですが、この構想の中で、この懇談会が関わっている計画がもっともこの構想を実現する機能をもっているとの訴え方が、入れ込んだ形になっていますが、青梅市がやりたいことに叶ったものになっていると思います。いま議論している事業展開についても各論として基本構想に軸足を置いた議論として、本物の舞台芸術に触れて参加したり、新しいものをつくる必要がある論理になると思います。なので、予算についてはわからないですが、懇談会の論理展開としてはまっとうな主張として盛り込むべきものは盛り込むものだと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>続きですが、私はこの長期計画のパブリックコメントに意見をだしました。それは市長があそぼうよ青梅と提唱しており、長期計画の中にもあそぼうよ青梅が入りそうだと聞いたので、あそぼうよ青梅の本当のコンセプトは文化を大事にすることにつながると思います。あそぼうよ青梅のシンポジウムをやってあそぼうよを本気で深めたらと提案しました。文化のミーティングでもこれが出ました。あそぼうよ青梅を市長が提唱していることに反対の意見もありました、でも本当にあそぼうよを考えると青梅の市民の気持ちはそこだねと、また、もう一つ加えられるのが、一緒にあそぼうよの気持ちだとの意見も出ました。これを深めると文化政策になると思いました。なので、最初にあそぼうよ青梅とのつながりの部分は大変重要だと思います。ここを私たちは本気で押していく必要があると思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>先ほど会長がおっしゃっていたように鑑賞や体験を普及していくような具体的な書き込みがあった方がいいと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>私の提案でいきますと、1の事業展開・利用のしやすさを事業の展開は大きく分けて2つあると思いますので、1は基本は市民が中心であると、そこで、単なる貸館ではなく市民の利用を積極的に図っていくための仕掛けや人材が必要であることを強調する必要があると思います。2</p>



	<p>番目についてはもっと専門的な要素が入ってきて、本物の芸術文化に触れるということは一つは鑑賞、もう一つは体験機会の創出、そして可能であれば3番目に共創していくようなことを項目として分けて、計画ではないのでイメージとしてこのような姿を持っていきたいと言うことを書き込む必要があると思います。そのうえで、それを実現するための利用のしやすさとして、情報の発信などが入ると思います。なので、1と2の中身をもう少し入れる必要があると思います。</p> <p>(委員)                    いまの提案ですとタイトルがわかりづらくなると思いますので、ターゲットが誰なのかと利用目的が誰なのかを明記した上で利用のしやすさを求める方が一番齟齬がないと思います。</p> <p>                                  あと、この3章はソフト面をメインで書くと思いますので、利用しやすさの2段落目はハードのことなので、前の章に移動した方がいいと思います。</p> <p>(会長)                    1と2については目的やターゲットを具体的に書き込む必要があると思います。</p> <p>(委員)                    今の話の流れで、文化の振興の拠点として、プログラムを企画していく中心的人材や組織がこの運営組織にあたると思いますが、その運営組織の人たちにいい人が来てほしいということであれば、2章の機能と形態はその人たちが活動する、ラボかスタジオか研究など、教育研究の部屋など教育の拠点となる機能、例えば図書やデータベースが重要だと思いますので、できれば少し書いたほうがいいと思います。</p> <p>(会長)                    文化施設の中に情報センターを置こうというのはよく聞かれますよね。</p> <p>(委員)                    事業の展開ですが、市内各所への発信が書いてありますが、先ほど委員の意見もそこに絡んでいると思います。この発信の意味合いは青梅市は広いまちで、いろいろな地区で文化活動や施設があるのをつなげるために書かれていると思いますが、発信というよりもつなぐや協働、交流であったりすることを事業として具体的に市内で展開していくような形でうたっていった方がいいと思います。その中で、今まで伺ってきた、商工関係の動きや、福祉センターでの利用されてきた経緯などもあるので、今であれば小ホールに限定するわけではありませんが、借りてもらうだけでなく、事業として展開する中で、商工関係の方と文化が混ざりあうようなイベントもできるような事業展開を考えてもいいのかと思います。</p>
--	--

<p>(会長)</p>	<p>ます。</p> <p>ご意見を沢山いただきましたが、本日が最後なので、今日出たご意見をもとに、私と副会長と事務局にて整理してまとめたいと思いますが、少し整理したいと思います。</p> <p>運営に関していうとこの施設でどのような事業を行って行くのかということが挙げられると思います。大きく分けると4つか5つくらいになると思います。第1が市民自身の発表ですね、市民が利用して発表する。2つ目に本物芸術に触れること、3つ目はワークショップなどを通じて体験する体験事業、4つ目で複合施設ですので、文化以外も含めた交流する事業、この交流事業の発展系として各市民センターとのネットワークになるかと思っています。</p> <p>2つ目としてそのためには発表事業に関しては発表のしやすさなどの一方的に貸し出すのではなく、アドバイスをしたり、そこがコーディネートしていくようなことに整理したいと思います。</p> <p>そして組織全体としてあまり大きな事は言えませんが、担保していくための最低限必要なものになりたいと思います。このような流れの中でご意見いかがでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>この検討されている施設ですが、一つは旧市民会館の機能を刷新していいものにしていく。もう一つはまだ建物として残っていますが、福祉センターですね、この機能も必要なもので、それが多目的ホールという表現で書かれていて、バンケット機能のほか、中規模ホールの併設によりリハーサルの活用や飲食も可能として200人程度となっていますが、福祉センターのバンケット機能で各種団体の総会や表彰式や周年記念のパーティーに使ってきたものになると思いますが、市役所の方はご存じだと思いますが、かなりの使用頻度だったので、民間事業者が入って、料理などを提供しておりましたが、それが成り立っていたということは、各種団体の総会や祝賀会でかなり埋まってしまう。昔は飲食については民間事業者が内部で作ってくれましたが、今度はそうではなくて、外部から持ってきてもらうスタイルになるかと思っていますので、調理室はいらなくても、持ってきたものを一時的に置いて、配膳、かたづけをするスペースは考えて置かないと使いづらいものになってしまうと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>きらりふじみではマルチホールでバンケット的な利用あったときに一番問題になったことがおいですね、おいを換気する設備がなかったので、翌日までの残ってしまうようなことがありました。</p>

(会長)	<p>交流関係に関しても設備の問題やコンベンションなりパーティーを誘致したるすることもあると思います。ホールだけでなく複合施設ですのでそういった観点も必要かもしれませんね。</p>
(委員)	<p>具体的には交流施設の設備のところ、福祉センターのこともさらっと書いてますが、市民会館と同様に果たしてきた役割をもう少し書いてもいいかもしれませんね。</p>
(会長)	<p>専門的な話になってしまいましたが、委員の中でいち利用者または潜在的な利用者として要望などあればいただきたいです。とくに交流や福祉センターの果たした役割などでも。</p>
(委員)	<p>すごく細かくなってしましますが、例えばバンケットホールでは私たちが使うのは結婚式呼ばれたりですとか、お祝いのパーティーとかですが、そういうのですと女性は着替えなどの更衣室などが気になります。なので、イメージは小さい試着室みたいな部屋があるといいと思います。後は駐車場ですが、入庫、出庫のルートや立体駐車場なら階の移動ができるとか、デパートなんかはそれができない場所もあるので、車の事故が起きないように安全性も考慮してもらいたいです。市の中でも埼玉県よりだとバスもあまりないので交通網、車がない方でも来やすいアクセスがあるとありがたいです。</p>
(委員)	<p>今のバスの話ですが、前回地図で東青梅に集まっている話をしましたが、それに追加する事項として、運用時間が早く終わります。新青梅街道沿いですと田無行きバスを使いますが、終点まで時間がかかるため最終便がとても早い時間です。たまぐーを9時前に出ないと、最終便に間に合わないかたちになります。ルートともに運用時間も含めて、ホールでイベントが終わり、少しゆっくりしても帰れる時間まで運行してくれないと困ると思います。</p>
(会長)	<p>他にいかがでしょうか。</p>
(委員)	<p>今まで、7回皆さんと話し合っ、ホールをつくるのはいいですが、その中に凝縮された色々な想いが出来上がった時点で、今まで話し合った事が達成されることを願っています。皆さんが一生懸命考えていいものを作ろうとしてましたので、それが途中で違った方向に行かないでもらいたいと思いました。皆さんが色々な意見を出してくれてとても夢の</p>

	ある感じで、話し合ってきたので、行政に託したので、この想いを達成してもたいたいと思います。
(会長)	ありがとうございます。そのようになるように私たちの努力しないといけないと思います。他にいかがですか。
(委員)	この時代に、この地域でホールを作る話は近年どこでもやっていないので、それを踏まえたとしても作った後に今でてきた想いを集約してそれが使い続けることが絶対に達成されないとダメだと思います。それをしないと行政だけでなく我々も何をやってたのかとなり、ただ赤字を抱えて腐っていただけだと思います。そこをちゃんと使えるようなホールにするために参加していましたので、建てた後、行政と市民が連携してやっていかないとと思います。
(会長)	ありがとうございます。付帯提案でもそれを担保する仕組みを書かさせていただいております。条例を作るのがいいか、計画をつくるのがいいか、何らかの形でここで議論された内容が市に対して縛っていくような、条例や計画が作られて、それを責任もって遂行する部署をつくることを付帯提案に書かさせていただいております。
(委員)	<p>メの前に一つだけよろしいですか。</p> <p>少し具体的な話ですが、9ページの自然との調和、まちのランドマークとありますが、少し順番を考えてもらいたいことと、まちのランドマークとしては少し抽象的な感じがします。まちのなかに劇場がある、長い歴史を培う劇場は外観もそのようなものであると言うことがありますので、文化施設であることを入れてもらいたいと思いました。</p>
(委員)	これから具体的に進めていくと、入札などになると思います。入札では安い方がいいとなりますが、たまぐーでは不具合が多く、上で歩くと下に響いたり、ホールで演奏すると3階まで聞こえたり、是非、今回の提案も含めて、価格だけでなくプロポーザル方式で、専門的な知識の方を中心に建物だけでなく、東青梅からの人の流れや、市民が文化的なものの享受できるような総合的なものが必要だと思いますので、是非、後世にいいものを50年先の青梅に残していくことが私たちの仕事だと思います。
(会長)	今日でこの会は終わりですが、むしろ新しい文化施設のためには今日が出発点であり、今日の意見を踏まえ、まとめ直しますが、100%皆さん

	<p>の声が入らないかもしれません。しかし次のステップとして基本計画の委員会等が作られると思います。それに参加する参加しないはあると思いますが、傍聴なども含めて様々な形で関わることはできると思います。声を上げることもできると思います。今回、ここで議論した声を次へつなげるためにもここでの委員さんは立場を変えた形で関わっていただき、施設ができた後も応援していただければと思います。100%自信も持ってまかせてくださいまでは言えませんが、今日の話をもとに報告書に手を入れて直していくことを、私と副会長、事務局に一任ということによろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>(委員) もう一つだけ付け加えさせてよろしいでしょうか、障害に対するやさしさのものを付け加えてもらえないでしょうか。車いす席をもう少しいい席にしてみようとか、新しいやさしさを盛り込んでもらえればと思います。</p> <p>(会長) ありがとうございます。それでは一任させていただく形、進めたいと思います。貴重な意見ありがとうございました。</p> <p>それではその他について事務局からございますか。</p> <p>(事務局) これまで7回にわたる懇談会で皆様から貴重かつ斬新なご意見を頂戴しました。この市民ホールについては一度白紙からこの懇談会で議論するというところで始まりました。約1年半、ご協議いただき、今後の展開については先ほど会長からもございましたが、市長へ報告書として提出し、その内容をもとに更に進めていく中では、今回の報告書については市としても真摯に受け止めて、進めていきたいと思っています。現在、色々な形で利用している市民の皆様はもちろん、将来を担う子供たちが大きくなったときにもそこを活用して皆が交流できるような施設がやはり目指すべき姿だと思います。事業用地はホールだけでなく、国の施設など様々なものが入る予定となります。そこも一緒に連携できることも大切なポイントになると思います。今後も是非、皆様のご意見を頂戴できればと思っております。今日は一つの区切りではありますが、会長からありましたようにスタートラインということでもありますので、今までの皆様のご尽力に対し感謝を申し上げるとともに、今後も色々な部分でご意見を頂戴できればと思います。大変ありがとうございました。</p>
--	--

(会長)	委員の皆様からなにかございますか。
(委員)	<p>青梅の文化ミーティングを3回やりました、その中で出た意見をまとめました。一回目は文化のイメージを話したり、2回目は青梅の文化をこんな感じにしていきたいなとか、最後にどのような政策や方針があったらいいか大きく分けると3つあります。1つは文化条例や文化基本方針などで、こんなふんであったらいいなを言葉にする、言語化するといったことがありました。それから、市民の参画、協働で文化を広げていきたい、それと文化を担う専門部署がほしいとありました、今は美術館と文化施設などが色々バラバラなので、そこも全体の文化として考えられたらいいなと思いました。そして3回終わったところで、一回まとめましたが、これを継続しようとの話になってきました、これから基本計画が作られたりすることも、みんなで見ながら市を監視する訳ではなく、市とともに歩く市民でいたいとみんなで話しましたので、市の方とも一緒に考えられたらと思います。</p>
(会長)	他になければ、最後の副会長お願いします。
(副会長)	<p>お疲れさまでした。最後になにを言おうかと思いましたが、私自身、色々、深く勉強になりました。勉強というのは、文化芸術であったり、劇場であったりということもですが、一番学んだと思うことは青梅市のことと青梅の市民の方々の想いと市民の方々が培ってきた文化とそれに対する愛着ををこの懇談会を通じて深く知り、学ぶ事ができたことが個人的には一番大きな収穫であったと思います。今日、市民委員として7名の方がいらっやって、皆様から様々な意見をいただき、やはり学んだのはその人たちが作り上げてきたものがあり、その地盤の上に新しい計画をどのようにつないで、成長させていけばいいかが市民の方々の知恵かと思えます。会長もおっしゃってたとおり、この会の囲いだけでなくそれを囲う市民の傍聴の方達もあり、そのようなことも含めてこの懇談会が成功であるのなら皆さんの意見が合わさって今に至ったのかと思えます。それと今日も出た行政へのチェック、監視等の話もありましたが、行政の方々もある種の可能性をもっておりますが、それをうまく市民と協働でやっていくきっかけがなかなかなく、それは今までの経緯などで出来上がった壁などもあり、これは市民の委員の方にある種のお願いですが、行政の方たちも時と場合においては非常に孤独で孤立して、本来やりたいことをうまく実現できないことがあると思えます。チェック監視も大切ですが、行政が進めようとするいいプロジェクトは後押しというか、まさに協働で進めることがあると良いなと思えます。私</p>

	<p>としては全体としてうまくいったと思いますので、お疲れ様というのが一点と、会長のお話とも重なりますが、今後いっしょに進めていく中でのなんらかのチカラを私たち一人ひとりが提供するとこの先もいいことになると思います。</p>
--	--

どうもありがとうございました。

以上をもって閉会といたします。